

令和7年度社会教育主事講習カリキュラム概要

科目名	生涯学習概論（時間数:30時間 単位数:2単位）
目的	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る。

内容・テーマ	時数	方法	目標	講師予定者の職・氏名
生涯学習振興施策の動向	1.5	オンデマンド	日本の社会教育・生涯学習振興施策の動向と最新事情について理解を深める。	文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課
社会教育行政と社会教育主事の役割	1.5	オンデマンド	熊本・鹿児島・宮崎・大分各県における社会教育の目標および主要事業の趣旨・概要について理解するとともに、社会教育主事の仕事の魅力ややりがいについて理解し、社会教育行政および社会教育主事への関心と学習意欲を高める。	4県(熊本・鹿児島・宮崎・大分) 社会教育主事等
熊本市の公民館とまちづくり	1.5	オンデマンド	熊本市における生涯学習政策と社会教育施設、社会教育主事の役割と学習支援を幅広くとらえ、学校教育、まちづくり、生涯学習との関連性を理解する。また、公民館活動体験の事前学習として、熊本市の公民館制度について理解を深める。	熊本市社会教育主事
社会教育・生涯学習の理念	1.5	講義	社会教育・生涯学習の理論的・実証的な視座を得るための枠組みを提示し、基礎理解を深める。社会教育の理解を通して、生涯学習の理念と施策について、実際生活における学校・家庭・地域の連携・協働等の実践事例から概観する。	熊本大学大学院教育学研究科 教授 山城 千秋
社会教育の現代的意義	3.0	講義	社会教育の定義および社会教育に関わる実践を概観し、社会教育が社会の基盤である地域住民のかかわりを形成する営みであることを理解するとともに、その担い手としての社会教育主事・社会教育士あり方を考える。	東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤
益田市の暮らしとひとづくり	1.5	講義	島根県益田市の社会教育プロジェクトでは、NPOカタリバと連携して子どもたちのライフ・キャリア教育を推進している。益田市のひとづくりを基盤としたまちづくりの内実について理解し、社会教育の可能性を探る。	NPOおむすび代表 大畑 伸幸
離島・へき地における地域の自立と教育	3.0	講義・演習	鹿児島、宮崎、熊本には中山間へき地が多く、鹿児島の甑島、奄美地方、熊本の天草地方など、広域の離島群が存在する。この地理的な特性を理解したうえで、どのような社会教育・生涯学習の振興が求められるのか、その方向性が描けることをめざす。	鹿児島大学法文学部准教授 農中 至
自治公民館の制度と機能	3.0	講義	諸塚村の自治公民館活動の在り方を中心に諸塚村の社会教育及び宮崎県の生涯学習・社会教育の実情を学ぶことで、自分が住んでいる地域の課題等について考える。	諸塚村教育長 竹内 一久
社会教育・生涯学習の法と制度	3.0	講義	戦後日本の教育法制度のなかでも、特に社会教育と生涯学習に関わる法制度とその内容について理解する。	名桜大学国際学群教授 嘉納 英明
社会教育における問いの技法	3.0	講義・演習	社会教育・生涯学習における問いの立て方並びにその検証・調査方法について理解する。	鹿児島大学法文学部准教授 酒井佑輔
社会教育の思想	1.5	講義	教育の目的とは何かという哲学的な問いから、社会教育、地域社会はどのようにあればよいのかを、現代という社会状況を考え合わせた上で明らかにする。	熊本大学大学院教育学研究科 准教授 苦野 一徳
義務教育未修了者の学習権と夜間中学	3.0	講義・演習	我が国の義務教育未修了者の現状と、学習権保障に関する国際法や国内法を理解する。そして夜間中学をめぐる今日の動向から、義務教育未修了者の学習権保障にむけた自分なりの展望を持つことをめざす。	福岡大学人文学部教授 添田 祥史
社会教育の歴史	3.0	講義	「社会教育」という言葉や概念の移り変わり、「社会教育」と「生涯学習」など、関連する用語との違いを理解することをめざす。	中村学園大学教育学部教授 圓入 智仁

令和7年度社会教育主事講習カリキュラム概要

科目名	生涯学習支援論（時間数:30時間 単位数:2単位）			
目的	学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能の習得を図る。			
内容・テーマ	時間数	方法	詳細	講師予定者の職・氏名
学習支援の理論と実践	3.0	講義・演習	地域社会における市民の底力ともいえるボランティア活動を深く理解し、ボランティアによる学び（ボランティア活動とボランティア学習）その手法を検討し社会教育の実践に活かす力を身につける。様々な場面で市民一人一人が社会に主体的に参画する手掛かりを探る。	日本文理大学人間力育成センター長 高見 大介
レクリエーション支援の基礎	3.0	演習	今日の社会のなかでレクリエーションに期待されていることや、これからレクリエーションを活用して人々や地域を支える支援者にとってのレクリエーションのあり方について考える。また対象にあわせたレク・ワークの技術の特徴、基本的な考え方を知る。	UEKIレクリエーション協会 上野 祥子
参加型学習とファシリテーション	4.5	講義・演習	対話的・主体的な学びであるアクティブ・ラーニングはこれからの世代の学びの基盤として、多様な主体との対話な場づくり等を通じて着実に広がっている。このような様々な学習者の特性を理解し、その特性に応じた学習支援の技術であるファシリテーションの基礎と実践を講義とワークショップを通じて体感しながら体系的に学ぶ。	加留部貴行事務所AN-BAI 代表 加留部 貴行
学習プログラムの編成	1.5	講義・演習	社会教育事業における学習プログラムの企画段階で求められる基本的な考え方や手法について学習する。生涯学習の場で求められる学習計画や学習者参加型の講座プログラムの編成例を提示し、実際にプログラムの設計を体験する。	加留部貴行事務所AN-BAI 代表 加留部 貴行
ICTを活用した深い学びと地域づくりの実践	3.0	講義・演習	2019 年度からスタートした学校教育における「GIGA スクール構想」に加えて、コロナ禍において地域社会においても一気に加速したICT 活用の実際を整理し、Society 5.0 時代を生き抜くための資質能力として求められる「情報活用能力」を基盤とした深い学びについて、理解する。	宮崎県教育庁高校教育課指導主事 上水 陽一
多様化する家庭と子ども支援	3.0	講義	多様化する家庭と子どもに対する支援の必要性を理解する。さらに、家族支援・子ども支援としての社会教育の可能性を探り、支援方法について主体的に考える。	熊本大学大学院教育学研究科 准教授 藤井 美保
中高生の主体性を育む学習支援	3.0	講義・演習	中高生の主体性を育む学習支援について、熊本県益城町での実践や、中高生による実際のプロジェクト事例に触れる。そこから生まれた受講生の問いを元に、座談会形式で理解を深める。	一般社団法人Table共同代表 井下 友梨花
ものづくり教育における学習支援と技能	3.0	演習	社会教育におけるものづくり教育の意義を理解し、具体的なものづくり教育の構想を立てることができることをめざす。	熊本大学大学院教育学研究科 教授 田口 浩継
障害者の学びと生涯学習支援	3.0	講義	ノーマライゼーションや共生社会のあり方についての理解を深めたうえで、障害及び障害を抱える人々とともに生きていくことへの展望を描けるようになることを目標とする。	熊本大学大学院教育学研究科 准教授 黒山 竜太
外国人の学習支援ネットワークの形成	3.0	講義	外国人の学習支援の現状について理解し、それぞれの地域における外国人の学習支援の現状を踏まえ、学習支援ネットワークの形成に社会教育が果たす役割について考える。	鹿児島大学非常勤講師 山下 直子

令和7年度社会教育主事講習カリキュラム概要

科目名	社会教育経営論（時間数:30時間 単位数:2単位）
目的	多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識及び技能の習得を図る。

内容・テーマ	時間数	方法	詳細	講師予定者の職・氏名
災害教育と地域マネジメント	3.0	講義・演習	自然災害に対する対策や被災後の復興を理解し、地域コミュニティが被災前と変わらず継続していくためにはどのような準備をしたらよいのかを検討し、適切な活動方法を提案する。	東海大学文理融合学部准教授 安部 美和
社会教育における連携と協働	3.0	講義	社会教育に期待される連携・協働についての意義と課題、可能性について理解を深める。教育行政と一般行政との関係を主軸におきながら、学校や大学等の生涯学習関係機関、NPO等の市民団体、民間事業者など多様なアクター・施設との関係において、社会教育の固有性や特性を踏まえた連携・協働のあり方を構想できる知見の獲得をめざす。	鹿児島大学法文学部教授 小栗 有子
社会教育行政の戦略と経営	3.0	講義	自治体政策をめぐる現代的状況と社会教育行政の役割について理解する。そして、多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決等につなげていくための知識を習得する。	北九州大学文学部教授 恒吉 紀寿
町内会・自治会経営の技法	3.0	講義	地域社会の変動について歴史的に理解し、近年における地域自治組織の弱体化を踏まえつつ、新たな地域創造のために必要な学習や実践について考察する。そして、社会教育主事として「地域社会の課題」とどのように向き合っていくかについて具体的なイメージを確立する。	鹿児島大学法文学部教授 金子 満
自治体経営と社会教育行政	3.0	講義	地域住民とともに学び成長する社会教育職員像を獲得し、地域住民の学びを基盤とした地域・自治体づくりの重要性を理解する。具体的には、松本市と阿智村の事例を紹介しつつ、社会教育職員が自らの仕事に誇りを持ちながら、希望をもって仕事ができる条件とは何かを考察する。	松本大学総合経営学部准教授 向井 健
公民館の経営と計画	3.0	講義	多様な機関団体と連携した子どもの居場所づくりや多文化共生の取り組みなど、公民館を拠点に自治を育む社会教育活動について知る。	那覇市立若狭公民館館長 宮城 潤
学習成果の活用法	1.5	講義・演習	住民自治を育むために、学習プログラムだけではなく“意図しない学び”にも意識を向け、偶発的な学びが起きやすい環境のデザインについて考える。	那覇市立若狭公民館館長 宮城 潤
地域博物館のまちづくり	3.0	講義	社会教育施設である博物館のもつ役割や機能、活動を具体的に解説する。また、地域博物館が果たすべき役割や現状、その課題等について理解する。	御船町恐竜博物館学芸員 富澤 由規子
田辺市における自治体経営と社会教育	1.5	講義	田辺市における地方創生の戦略プランの柱とする人材育成について考える。地域課題をみつけ、それらを解決するための拠点づくりや、地域の強みを活用しながら新たな価値を生み出す地域づくりの内実について紹介する。	熊本大学 客員教授 鍋屋 安則
地域のネットワーク形成と社会教育	1.5	講義	社会教育の場として、まちづくりをとらえるために、多様なステークホルダーの連携・協働について理解する。そして、まちづくりを「自分ごと」として参加するための方途を考える。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人 西米良集落支援従事者 富井 俊
社会教育の経営・広報戦略	1.5	講義	公民館のイノベーションについて考える。社会的包摂を「自分ごと」として捉え、社会教育の意義を人に伝えることができるよう、参加型のプロジェクトマネジメント技術・シビックプライドを涵養し、社会教育の意義をPRする力を身につける。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人 エンコミュニティラボ代表 山中 はるな
社会教育における人づくり・まちづくり	1.5	演習	実際にワークショップを実践し、身近な社会教育の課題を言語化してみる。そして、多様なステークホルダーの協働の場づくりについて考える	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人
熊本大学のリカレント教育と地域貢献	1.5	講義	人口減少が引き起こす地域変化に挑む「NPO」「企業」「地域企業（ローカルイノベーター）」の姿より、人口減少時代の地域づくりとはどのような取り組みが求められるかを受講生とともに共創し、将来の社会教育主事に求められる新たな地域の学びと実践プラットフォームの姿（社会教育人材ネットワークとその連携）を考えるヒントを探る。	熊本大学副学長 金岡 省吾

令和7年度社会教育主事講習カリキュラム概要

科目名	社会教育演習（時間数:34時間 単位数:2単位）
目的	社会教育主事の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を図る。

内容・テーマ	時間数		詳細	講師予定者の職・氏名
研究レポートの目的と方法	1.5	オンライン	本講習および研究レポートの目的を理解する。講習開始までに、社会教育・生涯学習に関する学習を深め、現段階における研究レポートのテーマを検討する。研究レポートが本講習の評価とみなすことから、社会教育マインドが反映されたレポートとなるよう、講習期間を通じて感じ、考えたことを基盤にすることを求める。そのため、行政や学校の研修報告とは異なることを意識化させる。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
社会教育主事の基本技術	3.0	実習	野外体験活動を通して、個人や集団との良好なコミュニケーションをとるために、信頼関係を成立させる必要性やそのための技法について理解を深める。	NPO法人おむすび
演習1	1.5	演習	研究レポートのテーマ設定、情報収集、執筆方法という一連の作業について概観し、本講習での学びをアウトプットするための研究レポートの意義および目標を再確認する。また、本講習を受講した理由・動機から、研究レポートの問いを温めるワークショップを実施する。	鹿児島大学法文学部教授 農中 至
演習2	1.5	演習	演習1で温めた問いをさらに深めるために、テーマごとにグループに分かれて、レポートの見取り図となる計画をつくる。研究レポートのカテゴリーとして①実践・活動分析、②研究的エッセイ、③事例研究、④研究・考察、を提示し、方法について具体的に説明する。	日本文理大学人間力育成センター長 高見 大介
演習3	1.5	演習	研究レポートを書くにあたって、対象と方法の確認、先行研究及び関連資料の検索方法、注意事項について確認する。文献の検索方法や図書館の活用法、レビューの書き方などの指導をはじめ、実践分析の方法など、書き方のノウハウを教授する。	鹿児島大学法文学部教授 小栗 有子
演習4	1.5	演習	研究レポートに関する個人の悩みや疑問、質問に応え、全員で解決策を共有し、レポートの内容をどのように深めればよいか考える。講師の指導だけでなく、学習者の共同学習によって、調査分析が不十分な点を出し合い、それをどのように解決するか熟議する。	鹿児島大学法文学部教授 金子 満
現地研修事前指導	1.5	講義	現地研修の目的・目標を確認し、受け入れ自治体の社会教育および生涯学習の施策と実践、その特色を理解する。また研修の日程と注意事項についても事前に確認する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
現地研修	13.0	実習	九州の各自治体の特色ある社会教育・生涯学習事業および地域づくり、社会教育主事の役割等について、参加型学習を通して理解を深める。	各県社会教育施設の社会教育主事等(4自治体)
公民館活動体験	6.0	実習	熊本市の公立公民館における社会教育主事の仕事、事業・講座、団体との連携について、一日の取り組みを通して体験学習をおこなう。	熊本市内公民館の社会教育主事等(6館)
現地研修報告会	3.0	講義	受け入れ自治体での研修で学習した成果を全体で共有し、それぞれの自治体の社会教育の実践とその個性を理解する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋

34.0

124.0